

令和7年度 愛媛県がん診療連携協議会

第1回がん看護専門部会

開催日時：令和7年5月27日（火）14:00～15:00

開催場所：四国がんセンターから発信

司会進行：がん看護専門部会長 四国がんセンター 田邊 富江

出席者：がん看護専門部会員から19名の参加

1. 開会の挨拶（四国がんセンター 田邊 富江看護部長）

田邊 富江 専門部会長就任のあいさつ

がん看護専門部会の目的に「がん看護に関わる看護師の資質向上と、がん看護実践レベルの均てん化を図る」とある。全国で看護師不足が叫ばれ大変な時代であるが、専門性高き魅力のある看護師を育成するためにも、がん看護専門部会委員の皆さまのご支援をたまりながら、部会を盛り上げていきたいと思う。

2. がん看護専門部会会員・出席者 出席者19名の自己紹介 出席名簿参照

副部会長2名

守屋 昭子看護部長 住友別子病院

久米 理恵看護部長 市立宇和島病院

新規部会員3名

久米 理恵看護部長 市立宇和島病院

井上 信彦看護部長 済生会松山病院

村上 笑子看護部長代理 西条中央病院

3. 議事

1) 幹事会及び役員会・専門部会報告

①愛媛県がん診療連携協議会組織図（資料1）

2024.4.23付が最終の組織図となっており、小児・AYA世代の専門部会が追加された。がん看護専門部会は、幹事会の下に位置する専門部会の一つである。

②2025年度 愛媛県がん診療連携協議会年間スケジュール（資料2）

7月5日は各専門部会、報告会、幹事会が集合で開催される。年2回の定例会は、研修運営のため例年5月と1月の第4火曜日に開催としている。がん看護専門部会の開催回数に決まりはないが、今年度も昨年同様に7月に参加可能な方で集合開催を計画している。部会後は、他の専門部会の活動報告に参加し、活動状況を把握することもできる。

情報交換や連携強化の場として集合開催にしてよいか確認したい。議題は、スペシャリスト育成状況、アピアランス、などの希望があった。

集合参加難しいといった意見はないか。

→（四国中央病院）対面、集合で検討会したほうが、様々な意見や情報収集ができる。四国がんセンターの集合は可能である。

→反対意見なし。7月5日13時から13時50分だん暖ミーティングルーム集合開催とする。会議議題等意見があれば知らせてもらいたい。期日近くなれば改めて案内する。

定例会は1月にWEB開催とする。2月に幹事報告会WEBで行う。

2) 令和6年度がん看護専門部会研修報告(資料3)

令和6年度がん看護実践能力向上研修最終報告

資料をもとにページで説明する。

P7 事業概要については割愛する。

P8 第2回企画委員会は令和7年3月11日(火)10:00-11:15で開催した。

この時の協議内容はP13の企画者評価に記載している。

研修自体は9名の参加があった。11月14日の事例発表会に参加できなかった者については、代わりの課題として院内での発表をしてもらったことを確認した。結果として9名全員が修了した。

P6-7 自己評価を掲載している。

P8 企画者評価を確認してもらいたい。

- ◆ 7段階評価であるがすべての項目で自己評価は上昇していた。最終自己評価はあまり伸びがなく、この原因として自施設において実践する機会が減っている看護師が多いことが考えられた。意識して実践していくことでロールモデルとして部署の後輩等の指導につなげていくことができると考える。そのため、1月の最終発表時の課題を自己の取り組みから実践事例のみに変更していく。
- ◆ 事前課題や中間評価は、集合にしたことでグループワーク内での学びを深めることができていた
- ◆ 講師からも講義を対面で開催したいとの意見があり、次年度検討する
- ◆ 実習ではオンライン時と比較し、話し合うなどできており、事象を深め、心理面の相互フォローなどが行えており、実習担当者だけでは補いきれない部分の相互フォローができていた。
- ◆ 前回の修了式後のディスカッション時にはオンラインだったので掘り下げるのが難しかったが、修了式を対面でしたことはその後のワークでも課題や現状の掘り下げがしやすく、ディスカッションが活発になっていた。

3) 令和7年度がん看護専門部会研修企画報告(資料4)

P34 令和7年度がん看護実践能力向上研修会日程表の説明

- ◆ 事前課題発表会、中間評価会、事例発表会の他、講義は2日とも集合での開催とし、もう少しワーク等を取り入れ計画する。講義時間は9時から16時の予定で計画する。
*今年度については、集合研修は公開講座とはしない
- ◆ 8/9.10はELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムを開催とする。
例年同様、過去に本プログラムを受講した人は受講免除が可能
- ◆ 中間評価会は午前のみとする。自施設で実習をする人については要検討。
- ◆ 講義日に集合研修とすることに伴い、四国がんセンターへの参集は、自施設実習の場合で5日。四国がんセンターでの実習の場合で14日となる。
- ◆ 実習後の最終発表は、事例を通しての発表に変更する。

- ◆ 実習後事例発表会について、がん看護専門部会でも検討した。実習後に一度は自施設での振り返りや指導を受けることができるようにするとともに、研修 2 週間後に事例を提出し、実習後 3 週間後ごろに発表会を計画する。10 月 2 日ごろ開催予定とした。
- ◆ 交流機会の増加を図る。ディスカッションが円滑に進むうえでファシリテーターの人数が多すぎることは避けたほうがいいため、人数の調整を検討する。
- ◆ 企画委員会については、年 2 回に加え、参集できる方については中間評価の際に午後から開催する。内容は、1 時間程度中間評価までの評価を行う。

P16-18 令和 7 年度がん実践能力向上研修募集要項

- ◆ 講義及び実習、発表：自施設実習または四国がんセンターでの実習
- ◆ 受講料 3 万円
- ◆ 申込 7 月 15 日まで 募集要項は今月中に発送予定

昨年度の最終発表会で、自施設における取組を発表してもらった。研修生の自己の実践を通しての発表である。研修生は、各施設で指導的・リーダー的な役割の方が参加している現状の中で、短期間の中で事例を受け持ち、実践報告が難しいようであった。そうすると課題の設定を修正することも検討しなくてはいけないと考えている。短期間で事例を受け持ち実践と報告をするようになるが、自施設での事例報告に関して意見はないか。

→（住友別子病院）入院期間が短い場合であっても、退院後に外来で関わるができる。自施設の症例で実践し、実践報告をまとめてもらいたいと考える。

→その他意見なし。意見があるようであれば、7 月の専門部会で検討したい。

- 4) 第 5 回全国がんセンター協議会加盟施設等看護部（局）長連絡会（2025 年 3 月 25 日）より
・看護の質をどう評価するか（資料 5）資料提供をする。

国立がん研究センターから「看護の質をどう評価するか」評価指標の紹介がされ、各施設におけるがん看護の質の向上を図るための取り組みについての意見交換があった。データ活用によってベンチマークで自施設の状況が分かるようになると、質向上につながるなどの意見が出た。

- 5) がん看護専門部会について（定例会：2026 年 1 月 27 日火曜日）

2025 年 7 月 5 日（土）：幹事会・専門部会・報告会（集合）

当日のがん看護専門部会については 1）議事を参照

- 6) その他

☆7 月 6 日看護師向け研修「リフレクション」（資料 6）

がん看護専門部会による 看護師向け研修「リフレクション」案内

5 月 30 日締め切りとなっているが、残り 10 名程度となっている。各施設で参加のお声かけをお願いしたい。

☆7 月 19 日市民公開講座「頭皮冷却ってなに？」（資料 7）

アピアランスケアの頭皮冷却法について、2部構成で、市民公開講座と医療関係者向けがある。本日事務局から案内予定としている。

☆次回の情報交換について（案）

- ・各施設のスペシャリストの育成状況
- ・アピアランスケアについて

他に意見などあれば事前にご連絡をお願いする。

4. 閉会

議事終了の挨拶

次回集合開催

日時：2025年7月5日（土）13時～13時50分

場所：四国がんセンター 暖だんミーディングルーム